

新潟市議会議員 たむら要介「かなめ通信」

令和元年12月発行 第14号

発行:新潟市議会議員たむら要介事務所



ご挨拶

平成から令和へ。私にとっても節目となったこの1年も残りわずかとなりました。

12月議会も最終盤となり、次年度に向けての準備を進めさせていただいているところでございます。

振り返れば、本当にあつという間の1年でした。4月の統一地方選挙におきましては、本当に多くの皆さんにご支援を頂戴し、無事2期目のスタートをさせていただくことができました。

おひとりおひとりのあたたかいお力添えに心より感謝申し上げます。

1日1日を大切に、日々研鑽を積ませていただく所存です。1年間本当にありがとうございました。

◆9月定例会、決算委員会の開催



9月定例会において、令和元年度初めての一般質問に立ちました。

今回の質問は表題のとおり防災、BRT、そして都市緑化についての質問3点。1時間の持ち時間をほぼフル活用させていただき中原市長、執行部と議論させていただきました。

特に防災について、避難所開設、鍵管理の方法の改善を要求しています。令和2年度の予算化に向けて頑張っております。

(一般質問) 議会での市長とのやりとりが記事に

「市民理解の醸成が不十分であり、真摯に反省が必要だ」

BRTの総括について、私の一般質問に対する中原市長の答弁が新潟日報9月17日朝刊に掲載されました。「何をいまさら」という声も聞こえますが、前に進むためにも十分な総括と検証が必要です。

この後、大変厳しい内容の総括が発表されました。具体的な変更は未だですが、この後の展開に注視してまいります。



TOPICS

新潟西道路バイパス複線化事業

◆いよいよスタート

本年4月に事業決定となりました新潟西道路（曾和～明田区間）複線化事業がいよいよスタートといたしました。8月に西区西地区4コミ協及び中野小屋当該自治会において、説明会が開催されました。事業の円滑な進捗に向けてがんばります。



◆事業予算獲得に向けて



次年度以降の予算確保に向けて、中原市長、期成同盟会の皆さんと要望書を提出してまいりました。
国交省への陳情活動は視察と重なってしまい残念ながら欠席。新聞に載り損ねてしまいました。なんで要介が映ってないの？とお気づきの方々、ご心配ありませんのでご安心ください（笑）

○直轄道路とは

当事業は国直轄事業として認定されました。この認定により、総事業費約300億の2/3を国が負担することとなります。1/3の100億は本市負担となりますので、計画的な予算確保を行っていかなければいけません。
(なお、開通後の維持経費に関しては全て国の負担となります。)

◆街も少しずつ、変わっています



とある道路がついに舗装されました。どうしてもできなかつたこと、これを叶えることも我々の力だと思います。市道認定まで2年、いよいよ工事開始と思ったら、半年のストップ。色々ありましたが、ようやく開通いたしました。また、緑地帯の境を舗装して、車両からの視認性をあげてみたり、信号の矢印ひとつを論じてみたり、皆で知恵を絞れば何か答えは見つけることができる、少しずつですが我が町も変えることはできるのです。

たむら要介政経懇話会・地域後援会活動

◆被災地支援にご協力いただきました

11月に開催させていただきました政経懇話会主催のチャリティコンペに70名のご参加をいただきました。集まった義援金は¥78,601円となり、たむら要介政経懇話会有志一同名で、台風19号で被災された新潟県東蒲原郡阿賀町に全額寄付させていただきました。

後日、阿賀町神田町長より、御礼のご連絡を頂戴しましたことをご報告いたします。皆さまのあたたかいご支援に心より感謝申し上げます。
ありがとうございました。



◆「たむら要介市政報告会」の開催



12月3日、ホテルイタリア軒にて「たむら要介市政報告会」を開催させていただきました。当日は政経懇話会会員を中心に約120名の後援者にご参集いただき、本年の活動をご報告させていただきました。中原市長にもお越しいただき、最後まで会を飾っていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

(地域の皆さまへの市政報告会は年明けより随時開催させていただく予定です。)



◆12月議会、制度化へもう1歩。

津波避難所開錠、住民で可能
自動鍵保管庫を検討

市会一般質問

一步前へ。9月議会での私の要望が前進しました。

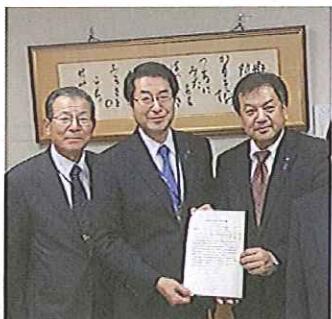
6月18日に発災した新潟・山形沖地震は避難所の開設が問題となりました。激甚化する災害に対応すべく、9月定例会、一般質問にて訴えさせていただいた「避難所の自動鍵保管庫の設置」が次年度設置に向けて検討されていることが、12月定例会の豊島議員の一般質問の回答でわかりました。

これにより、鍵管理を行っている方々の心理的な負担を軽減するとともに、緊急時、避難ビルが「開けられない」、避難者が「逃げこめない」というリスクが回避できることとなります。

市民の安全・安心を一步でも前へ。まだ、詳細を詰めている段階であるとの回答でしたが、できる限りの予算措置の要望を継続いたします。

個別案内での情報提供へ
来年度から
子宮頸がんワクチン接種
2019年春から実施
スケジュールに関する情報提供
予約であると審査基準
子保衛生課が削除
括弧枠をそのまま提出
2019年春から実施
子宮頸がんワクチンの
予約であると審査基準
括弧枠をそのまま提出

平成から令和へ
あっという間の1年でした



1月、真嶋同盟会会長と、市長への陳情。



2月、市長とともに副大臣の元へ



3月、自民党青年局を無事卒業。



4月、ついに地域の悲願が叶いました



私はというと、議会を終えて1週間で



いよいよ2期目の挑戦に突入です



少しは演説も板についたのだろうか。



5,237票、11人中第6位で2期目の当選を果たすことができました。



大会派、翔政会が立上げは難産の末



7月、参院選は厳しい結果になりました



菅官房長官と遊説を共にさせていただき



花角知事との意見交換も



第3回スワンカップも成功し



防災士としての活動も少し本格化



政治家たむら要介として、2期目も全力で頑張ります。よろしくお願いします。

市議会議員たむら要介事務所

〒950-2162 新潟市西区五十嵐中島4-23-8 Tel 026-378-0592 Fax 378-0598
(新潟西高校さんバス停の前となります。ご意見、ご要望承ります。お気軽にお越し下さい)
ホームページやってます。「たむら要介」で検索!